

関口正男さん (町内在住)

自分の作る曲で、ひとりでも多くの人を笑顔にすることができたら嬉しいですね。

■身近な人への恩返し

昨年決定したもろ丸くん公式テーマソング「ぼくが愛するゆずの里」の作曲者、関口正男さん。応募のきっかけを尋ねると「小学4年生のころ、東京から毛呂山町へ引っ越してきました。お世話になった身近な人や、ふるさとである毛呂山町へいつかは恩返しをしたいとの思いがあったので、あまり深く考えずに『作ろう』と決めました」と答えてくれた。

作曲にあたっては、「子どもたちが鼻歌で歌ってもらえるような曲、一度聴いて覚えてもらえらるような曲が作りたかった」という。「もろ丸くん」と「毛呂山町」に真摯に向き合い、皆がもっているであろう、それぞれのイメージを大切にしながら、曲作りをしたそうだ。



■遺伝子工学から音楽の道へ

関口さんが音楽の道を志したのは、大学生の時。「大学では遺伝子工学を学んでいたのですが、その道に進むか迷っていた時期に、音楽に巡り合っただけです。はじめは研究の合間に聞いたゲームの音楽などに興味を持ったのですが、そのうち『このシーンの音楽はこうじゃないだろう』とか、『自分ならこう作る』とか、考えるようになって、じゃあやってみようとなったんです」と当時を振り返る。

■聴く人のために

「音楽は、人に勇気を与えたり、笑顔になってもらうための、ひとつの手段だと思います。自分自身が成長していくことで、そんな曲を作っていければ嬉しいですね」と抱負を語ってくれた。関口さんは、これからは聴く人を第一に考える作曲家を目指していく。

関口正男さん(29)
作曲家。そのほか作詞・音響・収録を行う。BGMから歌謡曲、よさこいの楽曲まで幅広く手掛ける。柔軟性のある楽曲が評価されている。



もろ丸くんのテーマソングを作曲した人、作詞した人

キラリ輝いています!

■空の広さと星の美しさ

「関口さんから、もろ丸くんの曲を作るので、作詞と歌をお願いできないかと言われたときは、びっくりしました。私なんかでいいのかなって…」と語るのは、もろ丸くん公式テーマソング「ぼくが愛するゆずの里」の作詞と歌を担当した豊田雅美さん。「私は、毛呂山町に住んだことはありませんが、以前訪れたときに、空の広さと星の美しさに感動したんです。それを思い出して私でも、お役に立てるのであればと、引き受けました」と話す。

■迷い、悩みの先に

豊田さんのこれまでは、決して順調なものではなかったという。「中学生のころ、人間関係がうまくいかず、とても苦しい時期があったんです。ふとしたとき、市民ミュージカルの募集が目について、何気なく応募したら、受かってしまっただけでも、やってみたら楽しくて、人生ではじめてやりたいことが見つかった気がしました。その後、事故で怪我をして、やりたいのにできない辛い時期があったんです。でも、その

豊田雅美さん (町外在住)

地域のひととふれあって、皆で幸せになれる空間を作っていけたら私も幸せなんです。

■幸せの共有

「これまで、舞台などを経験させてもらいましたが、これからはもっと地域に出ていって活動したいと思っています。地域のひととのふれあいを通じて、皆が笑顔になれば、私も幸せな空間を共有できることに気が付いたからだと思います」と「屈託のない笑顔で語る豊田さん。もろ丸くんの歌を、全国各地で聴くことができる日も近いかもしれない。

豊田雅美さん (24)
声優・歌手・女優。
現在、テレビCMやゲームナレーション、ラジオ収録、ミュージカル、ドラマCDなど幅広く活躍している。

